PRESS RELEASE

報道関係者各位

2025 年 8 月 19 日

9月15日（月・祝）シンポジウム開催決定
国際シンポジウム「大阪湾岸『いのち輝く』を未来へ～はじめよう！連携が生み出す豊かな生物多様性～」

日本国内の主要な自然保護団体 6 団体（国際自然保護連合日本委員会、公益財団法人 日本野鳥の会、公益財団法人 日本自然保護協会、公益財団法人　世界自然保護基金（WWF）ジャパン、公益社団法人 大阪自然環境保全協会、日本野鳥の会大阪支部）は、大阪湾岸におけるネイチャーポジティブについて議論を深め、自然とともに生きる未来社会のデザインを考えるシンポジウムを 2025 年 9 月 15 日（月・祝）に大阪市立自然史博物館で開催します。当日はオンラインでシンポジウムの模様を視聴いただけます。

左写真：
「40 年以上前に市民運動から生まれた先駆的人工干潟・大阪市　南港野鳥園」
2025.7.25 撮影

現在、海洋と沿岸域は気候変動、開発、環境汚染など複合的な要因により危機的な状況に直面しています。生物多様性の損失や生態系サービスの劣化は、沿岸に暮らす私たちの暮らしや経済にも直結する深刻な問題です。
こうした課題に対して、自然の損失を止め、回復へと転じる「ネイチャーポジティブ」の視点は、これからの社会設計において不可欠な目標となっています。4 月から開催中の 2025 大阪・関西万博でも、「いのち輝く未来社会のデザイン」がテーマに掲げられ、自然との関係を見つめ直す契機でもあります。
本シンポジウムでは、藻場から湿地まで続く美しく豊かな沿岸の姿と、そこに生きる渡り鳥などによる豊かな生物多様性を保全・回復していくことを目的に、英国王立鳥類保護協会（RSPB）から専門家を招聘し、国・地方自治体・企業・市民などの関係団体が一堂に会し、大阪湾岸におけるネイチャーポジティブについて議論を深め、自然とともに生きる未来社会のデザインを考えます。

開催概要

日時：2025 年 9 月 15 日（月・祝）13：00 開演～16：30 終了（予定）
会場：大阪市立自然史博物館　講堂（定員 170 人　ライブ配信、アーカイブ配信・予定）
（大阪市東住吉区　大阪 Metro 御堂筋線　長居駅徒歩 800m）
ライブ配信視聴 URL　https://www.youtube.com/@大阪市立自然史博物館
申込：不要、ただし会場での参加には博物館入館料（大人 300 円）が必要

共催：国際自然保護連合日本委員会、（公財）日本自然保護協会、（公財）日本野鳥の会、
（公財）世界自然保護基金（WWF）ジャパン、（公社）大阪自然環境保全協会、
日本野鳥の会大阪支部、大阪市立自然史博物館

後援：日本景観生態学会、応用生態工学会、自然環境復元学会、日本緑化工学会、環境アセスメント学会、
関西自然保護機構、日本生態学会、環境社会学会、環境科学会

助成：このイベントは 2025 年度環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けています。
助成名「SDG s 万博市民アクション」

プログラム（予定）　＊敬称略

13:00～ 開会挨拶　夏原 由博（大阪自然環境保全協会会長）
来賓挨拶　マイケル・ブライス（在大阪英国総領事）
西村 学（環境省自然環境局 自然環境計画課課長）

13:15～ 基調講演「沿岸域のネイチャーポジティブとは」　道家 哲平（IUCN-J 会長）

13:40～ 特別講演「世界の視点で大阪湾を考える」（通訳あり）
・「渡り性水鳥の危機的状況と大阪湾岸の重要性（仮訳）」
The critical situation of migratory waterbirds and the importance of Osaka Bay
ニコラ・クロックフォード（RSPB 主任役員・シギチドリ研究員）
・「沿岸生息地再生に関する国際的な事例研究から大阪湾を考える（仮訳）」
The relevance International Case Studies in Coastal Habitat Restoration to Osaka Bay
ジェフ・キュー（RSPB 湿地再興アドバイザー）

15:00～ ディスカッション「大阪湾岸の生物多様性を高めるために～「いのち輝く」を未来へ～」
ファシリテーター　佐久間 大輔（大阪市立自然史博物館）
登壇者(予定)
・行政、企業（調整中）
・日本野鳥の会大阪支部長　納家 仁
・講演講師：道家 哲平、ニコラ・クロックフォード、ジェフ・キュー

16:25～ 閉会挨拶　葉山 政治（日本野鳥の会理事・IUCN-J 副会長）

お問合せ：シンポジウム開催事務局：npsympo2025@nature.or.jp
会場について：大阪市立自然史博物館（佐久間）06-6697-6221 monitor@omnh.jp

公益社団法人・大阪自然環境保全協会

身近な自然を愛し、これを守り育てたいと願う市民が運営している民間の自然保護団体です。1976 年に社団法人として設立されました。ボランティアを中心に活動を行っており、2025 年 7 月現在の会員は約 700 名です。
公式サイト：https://www.nature.or.jp/index.html

日本野鳥の会大阪支部

日本野鳥の会大阪支部では、野鳥保護思想の普及や野鳥が生息する自然環境の保全や回復のために、取り組んでいます。夢洲をはじめ大阪湾の野鳥を守るために、生息環境の保全や回復に向けての取り組みをすすめています。2025 年 7 月現在の会員は約 1800 名です。
公式サイト：https://wbsjosaka.com/bird/